



TOSHIN KANKO
東神観光バス株式会社

〒441-3102
愛知県豊橋市大脇町字大脇ノ谷74-88
電話 0532-65-5228
FAX 0532-65-5199

プレスリリース

連絡先：代表取締役 齋藤雅宣
電話：090-5007-4004

緊急リリース
2017年6月30日 16:00

報道関係者の皆様へ 10日弊社貸切観光バス事故での運転士退院と あらためて運転士取材自粛のお願い(ご依頼)

6月10日7時の弊社貸切観光バス事故について、報道各社の皆様には正確なご報道をいただき、また、公共交通機関たるバスがいかに安全性を必要とするかご理解をいただいたことに深く御礼を申し上げます。

さて、報道各社様からは、幾度も再三、乗務員である山本運転士について退院後でも取材させてほしいとの連絡をいただいておりますが、全てお断りさせていただいております。

今般、乗務員である山本運転士は、漸く退院し、現在自宅療養中となりましたが、怪我だけではなく、事故による精神的なショックも大きく、事故の事を話すことも避けている深刻な状況にあります。

しかしながら、取材自粛を前回の記者会見でも申入れをさせていただきましたが、未だ乗務員に直接アクセスされる方も多く、本人及び家族から「更に精神的な負荷が非常に大きく困っている」と会社に相談があり、弊社として改めて報道関係者の皆様には「運転士及び家族への取材自粛」をお願い申し上げます。

～続く～

弊社は、ご乗車いただき、お怪我をされたお客様には、大変ご迷惑をおかけしましたことを重ねて、深くお詫び申し上げますと同時に、弊社乗務員にも苦労と不便と精神的な負担を掛けていることを申し訳なく思っております。

■弊社の見解

「世の中に知らせたい」という報道機関の皆様のお思い、お客様のご心配、そうしたことを弊社「東神観光バス」は、現場出動した事故対応要員も、本社で対応に当たる社員も、社長以下役員、管理職スタッフも一身一丸に重大な事態として受け止め、一同、真摯に真剣に対応してまいりました。

私どもの代表取締役社長の齋藤は、皆様映像でご承知のとおり眼病を推して事故以来会社に泊まり込みに近い状態で詰めてまいりました。

情報公開については弊社代表の齋藤の指揮のもと、「求められる前に」映像・事故現場画像など可能な限り、報道機関や関係諸官庁等に提供のご対応させていただきました。今までにドラレコや事故現場写真の報道各社様へのご提供等をさせていただきました。弊社も報道関係皆様の、「伝える」というお仕事はある程度、弊社も重々承知しております。

しかしながら、乗務員やその家族だけでなく、事故に逢われた乗客の皆様も「一刻も早く忘れたい」記憶です。

私たちは、乗務員である山本運転士に対して、「ゆっくり静養し、心を癒して現場に戻ってほしい、山本運転士が運転するバスで旅に出たい多くのお客様もいるけれども、とにかく今は全てを忘れて元気になってほしい」と社員一同願っております。

私どもは、これからも事故防止に努め、事故前に決めていた「新たな安全対策」を今後粛々と進めてまいります。ずっと地元豊橋で「安心して楽しく出かけられる安全な観光バス」を目指してまいります。

注：「運転士」と表記しておりますが、多数の乗客の命を預かる乗務員は「運転手」ではございません。弊社ではその仕事に敬意を払い「運転士」または「(プロ)ドライバー」<社内では(プロ)は省略しております>多数のお客様を「楽しい思い出をつくるために」働いている、そして命を懸けて働いている、弊社の優秀な運転士、ガイド、支えるスタッフをお思いいただければと存じます。

以上